

令和4年度千葉市一般会計・特別会計歳入歳出決算及び基金運用状況審査意見の概要

一般会計・特別会計歳入歳出決算

審査の結果 [意見書P. 5]

各会計の歳入歳出決算及び政令で定める書類は、重要な点において、法令に適合し、かつ正確であると認められた。

審査における意見 [意見書P. 23-25]

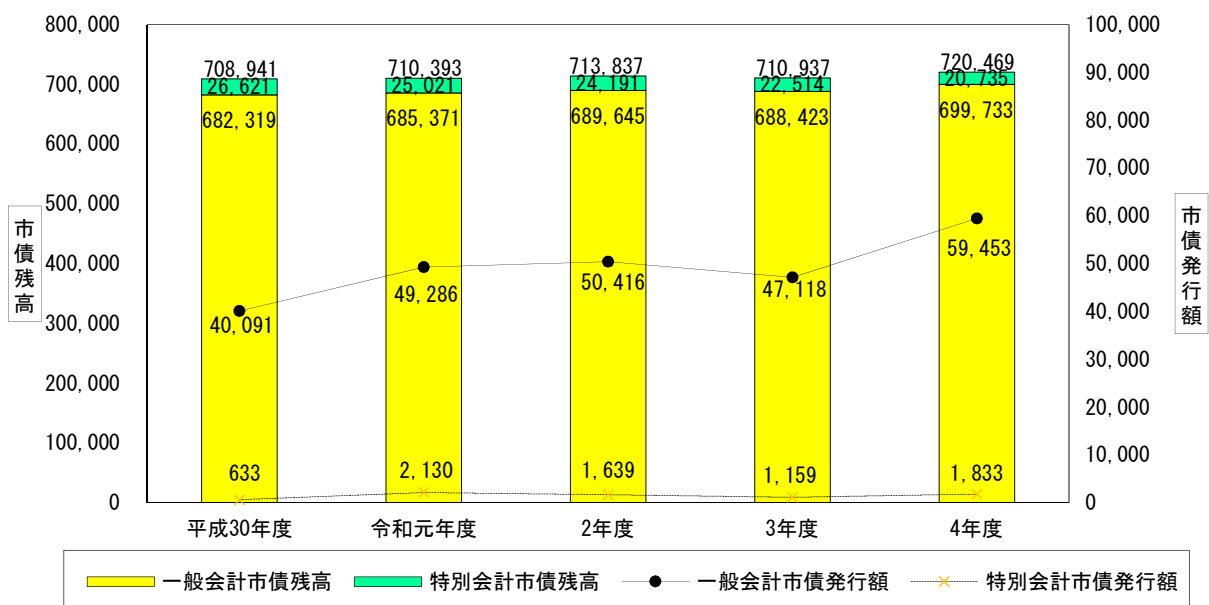
1 財政状況

- (1) 令和4年度決算においては、新型コロナウイルス感染症対策に加え、原油価格・物価高騰等への対応のため、一般会計において計8回の補正予算を編成した。その結果、昨年度より財政規模が拡大し、令和2年度に次ぐ過去2番目の規模となったが、国の財源措置等を有効に活用し、効率的な予算執行に努めた結果、約56億円の実質収支を確保するに至った。
- (2) その一方で、新庁舎整備等で市債発行額が増加し、将来負担比率も上昇した。また、今後も新清掃工場の整備や多くの公共施設の老朽化対策等で市債を活用していくことから、市債残高は高い水準で推移していくものと見込まれている。さらに、少子高齢化の進行や保育・子育て環境の向上に伴う社会保障関係経費の増加も見込まれ、今後の財政運営は厳しい状況となることが予想される。
- (3) これらの課題に的確に対応しつつ、本市の発展につながる未来への投資を着実に推進するためには、交付税措置がある有利な起債等を活用し、将来負担を軽減するとともに、市債残高を適正に管理することで、将来にわたり持続可能な財政構造の確立に努められたい。

(百万円)

市債発行額及び残高の推移

(百万円)



【参考】全会計市債残高

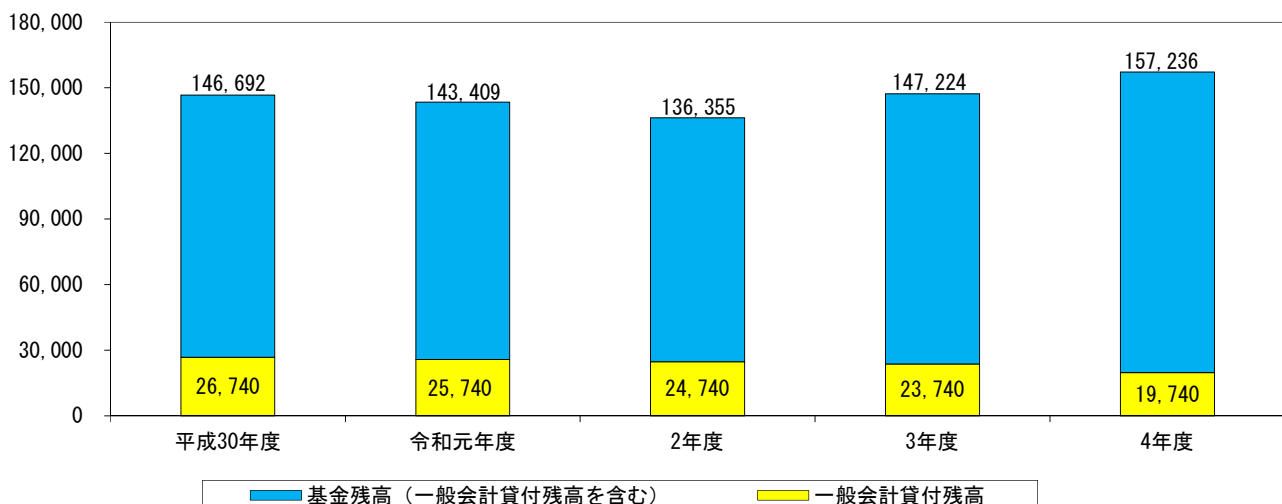
(単位:百万円)

平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
979,064	973,235	970,084	962,576	971,790

2 財産管理

- (1) 公有財産においては、学校教育施設、市営住宅などの公共建築物や道路・下水道施設などのインフラ施設で、老朽化対策、人口減少・少子高齢化の進行による利用需要の変化、財政負担の軽減・平準化、効果的な施設の再配置など様々な課題を抱えている。本市では、公共施設等の維持管理・更新について、「公共施設等総合管理計画」の見直しを令和5年3月に行い、同計画に基づき「個別施設計画」を令和5年4月に更新している。今後も、将来にわたり市民サービスを安定的かつ継続的に提供するため、これらの計画に基づき、総合的かつ計画的な管理等に努めるとともに、資産経営の最適化を推進されたい。
- (2) 基金においては、財政調整基金の状況を見ると、新型コロナウイルス感染症や物価高騰等への対策に係る財政需要に対して、国費等を優先的に活用し取り崩しを抑制したものの、出納閉鎖期日（5月31日）現在の基金残高については減額となっている。さらに、令和5年度予算では、市税等は増収を見込んでいるものの、扶助費等の増加により同基金を60億円取り崩すこととなっている。
- (3) 基金から一般会計への貸付残高は、削減が続いているものの、いまだに多額となっている。それぞれの基金は、特定の目的のために設置されたものであり、その貸付けが長期にわたり、かつ、多額となることは、基金本来の目的の達成に支障をきたし、基金の存在意義が問われることとなるため、確実に貸付残高が解消されるよう努められたい。

(百万円) 基金残高と一般会計貸付残高の推移 (3月31日現在)



※ 年度末(令和5年3月31日現在)における基金から一般会計への貸付残高は197億4,000万円であるが、出納閉鎖期日(令和5年5月31日現在)の貸付残高は、令和4年度の出納整理期間中に、一般会計が市債管理基金へ20億円返済したことにより、177億4,000万円となっている。

【参考】 出納閉鎖期日 (翌年度5月31日現在) の基金残高 (単位: 百万円)

区分	令和3年度	令和4年度	増減額
全基金残高	159,189	160,037	848
(うち財政調整基金)	(18,959)	(17,036)	(△1,922)
一般会計貸付残高	19,740	17,740	▲2,000

3 むすび

- (1) 本市の財政状況については、これまで財政健全化に取り組んだ結果、着実に改善してきた。それを受け、令和4年度からは、都市機能の強化などの必要な投資について各種財政指標とのバランスを取りながら着実に実施することとし、「中期財政運営方針(令和4年度～7年度)」に基づき、基礎的財政収支(プライマリーバランス)の均衡などに主眼を置いて財政運営を進めている。
- (2) その一方で、今後の財政需要についてみると、令和5年度から中長期的な市政運営の基本方針となる基本計画に基づく具体的な事業内容を示す第1次実施計画が開始され、本市の持続的発展につながる各種の投資が計画されている。さらに、短期的には物価高騰等の影響への対応、長期的には少子高齢化の進行への対応や公共施設の老朽化対策等も必要となり、今後の財政運営は厳しい状況となることが予測される。
- (3) このような状況ではあるが、市民生活の維持・向上に必要な行政サービスを安定的に提供していくため、市税収入等の確保や産業育成による税源の涵養^{かん}など、歳入の確保に着実に取り組むとともに、事業の選択と集中による歳出の抑制を推進することにより、将来にわたって持続可能な財政構造の確立に努められたい。
- (4) 最後に、将来負担との均衡を図った計画的な未来への投資を行うことで、「みんなが輝く 都市と自然が織りなす・千葉市」の実現に向けたまちづくりを着実に推進することを要望する。

美術品等取得基金運用状況

審 査 の 結 果 [意見書P. 69]

重要な点において、運用状況報告書の計数は、正確であり、また、基金の運用が確実に行われていると認められた。